



海上保安庁

令和4年8月23日

## 海徳海山の火山活動について（8月23日観測）

8月23日、第三管区海上保安本部 羽田航空基地所属航空機により海徳海山周辺海域を観測したところ、若干の浮遊物を伴う変色水を認めました。海上保安庁では、航行警報を発出しています。付近を航行する船舶は注意してください。

### 1. 観測結果

海徳海山の東海徳場付近に、直径約100mの若干浮遊物を伴う、円形の薄い黄白色の変色水を認めました（図1）。

2. 東京工業大学理学院火山流体研究センター 野上健治教授（航空機同乗）のコメントは以下のとおりです。

- ・ 約36年間、変色水等の表面現象がなく静穏な状態が続いていた海徳海山で変色水を伴う海底火山活動を認めた。
- ・ 1984年の噴火に比べて今回の活動は現時点では小規模であるが、マグマの上昇に伴う活動に発展する可能性もあり、今後変色域の規模や色調の変化のみならず、海面上に現れる噴出物等を注視する必要がある。

3. 海徳海山は、1984年に噴火が発生し、変色水、噴煙及び軽石等の噴出がありました。また、1986年に海底での火山活動を示す変色水が、2001年には気泡の湧出がそれぞれ確認されました。その後、特異事象は認められていませんでした。

当庁が実施した観測結果は、随時、海上保安庁海洋情報部HPの「海域火山データベース」にて公開しています。

Web アドレス：<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKOKUSAI/kaiikiDB/list-2.htm>



図1 海徳海山の変色水の様子(2022年8月23日 13:56 撮影)

<参考> 海徳海山について

東京から南に約1,050kmの位置にあり（図2）、基部の直径が約40km、比高が約2,500mの海底火山で、3つの峰から成ります（図3）。変色水付近の最も浅い水深は97mです。

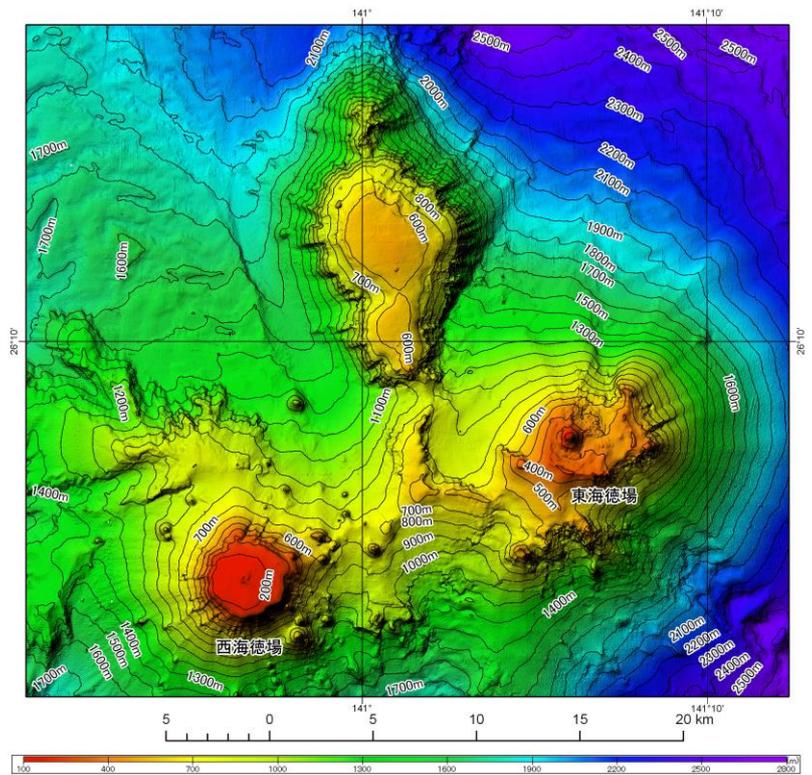
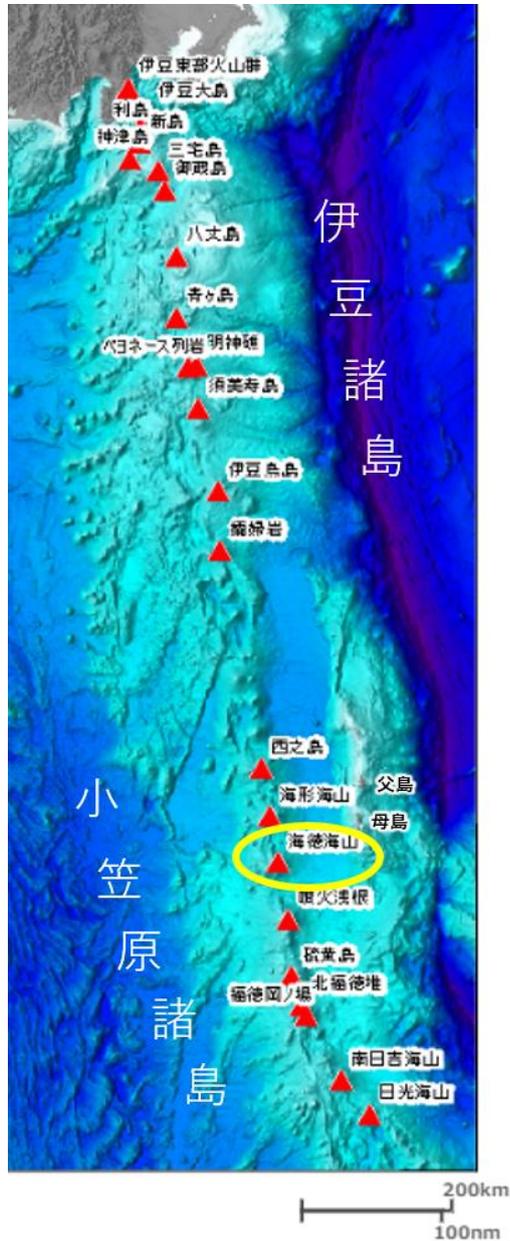


図3 海徳海山の海底地形図(平成28年調査)

出典： 海域火山データベース「海徳海山」

図2 海徳海山の位置図

出典： 海しる（海洋状況表示システム）

Web アドレス：<https://www.msil.go.jp>